
も死無

野脇幸菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

も死無

【Zコード】

Z0755F

【作者名】

野脇幸菜

【あらすじ】

死んでしまった80歳のご老人。天寿を全うしたと喜んでいたが。
・・。

とうとう私は死んでしまいました。

私ももう80歳でしたし、十分長生きしたといえます。
とてもいい人生を歩めました。

子供達や孫にも恵まれましたし、主人が逝ってしまった後に逝くことができたので心残りもありません。

ボケることもなく倒れて3日ほどでポツクリいけて、

子供達に介護やお金の心配をかけることなく死ねました。

今、私の体は病院から通夜のために家に向かっている所です。

子供達も孫も亡くなる時に病院のベットの横で泣いてくれました。

私はこれから天国かどこかであなた達を見守りますからね。

通夜や葬儀などの希望もノートに書いて、

子供達にしまってある場所を教えあります。

その事について私の要望を話して、お願いもしておきました。

困らせることの無いように準備をしておいてよかったです。

ここまでが親としての務めですからね。

家から送つて貢えることほど幸せなことはありません。

車が止まりました。

到着したようです。

前の座席に乗つていた息子と運転手の方が車から降りる音がしました。

外にも何人か待機していたようです。

扉が開けられて、夏のムツとした空気が一気に私の体を包みました。

後悔するしたら真夏に死んだことでしょうか。

汗をかかない体を不思議に感じながら、

私は今運ばれています。

でも、周りの景色は家の周りではないように思います。

ここは確か・・・。

私は自動ドアの入口から大きな建物の中に運ばれていきました。

私は知らない和室の布団に寝かされて、泣きする人達に囲まれています。

続々とお正月やお盆にも滅多に会えない親戚の方や、お馴染みの顔ぶれがやって来てくれました。

亡くなつたと知らせを聞いていても、

心から理解できていない彼らは

血の氣のない私の肌と、固まつてしまつている生身ではない私の人

体を見て

泣き崩れてしまいました。

私はそんな彼らの悲しむ姿に心が痛み、嬉しくもありましたが、頭はこの会場の事でいっぱいでした。

「迷つてしまつて遅くなつて。あつちの会館かと思つて。」

と、こう、いらっしゃつた方の言葉を聞き、私は落ち込んでいたからです。

この会館は場所がわかりにくく、建物も立派なものではなく、たまたまあつた土地に建てたという感じの所だつたからです。もつといい会館がちょっと先にあるのに…。

私は会館で見送ることや特にこの会館を使用することを止めてねと何度も口を酸っぱくして言つておきました。なぜ、こんな選択をしたのでしょうか。

私は悲しくなりました。

安く済むといつことしかここを選ぶ利点はありません。

でも、もつと情けないことは続きました。

お金は十分遺してあるのに棺桶のランクも

要望したものではない低いもので、

信頼しているお声のいいお坊様でもなく、

初七日の法要も葬儀の後でついでに済ませました。

その他の要望も恐らく実現されることは無いでしょう。

私の魂は極楽浄土へ連れていってもらえるのでしょうか。

夫は家から見送り儀式も全てきちんと執り行いました。

今考えると私がいたからなんでしょうね。

死後の要望は亡くなつた者のわがままなのでしょうか。

亡くなつた後の私の意見は無意味なもので、無効なのでしょうか。

私は焼き場の焼却炉に入れられて、

泣きすする人々の温かみを遠くに感じながら、

慰められるかのように炎の熱に包まれていきました。

(後書き)

題名のセンスが無いのですみません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0755f/>

も死無

2010年10月10日01時44分発行